

週間感染症情報

2020年46-48週 2020年11月9日より2020年11月29日まで

46週 47週 48週

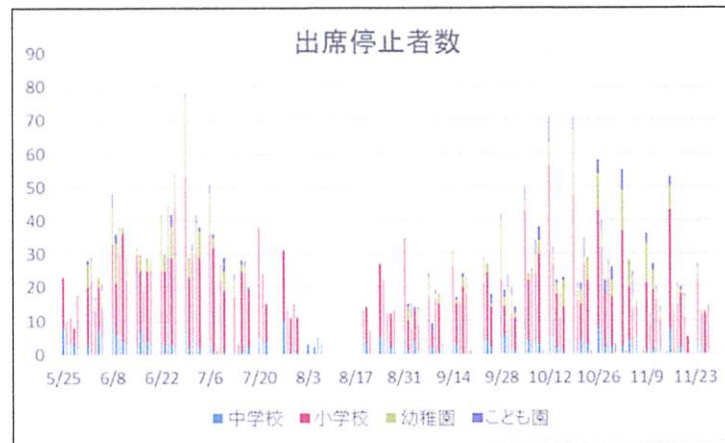
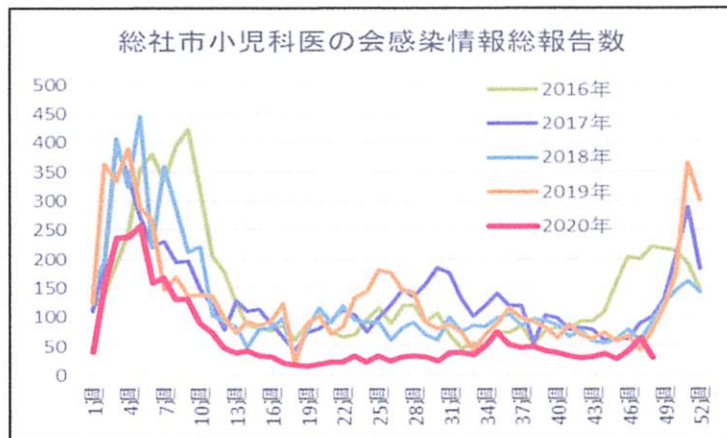
麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)	3	1	1
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	6	5	2
手足口病	13	19	2
ヘルパンギーナ	1	1	
伝染性紅斑			
感染性胃腸炎	16	29	20
ロタウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	2	2	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	3	1
ヘルペス性口内炎		1	
アデノウイルス感染症		2	2
RSウイルス感染症			
マイコプラズマ感染症			
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ(臨床診断含む)			
インフルエンザA			
インフルエンザB			

遅くなりましたが、46-48週の報告です。感染症の報告は少なく、小児科外来は閑散としています。

左下のグラフのように、小児科医の感染情報報告数は例年の1/3程度で、夏かぜの山はありませんでした。11月になっても、ウイルス性胃腸炎の施設内の小流行はありましたが、市内での大きな流行にはなっていません。コロナ感染予防対策で、手洗い・マスクの着用、体調不良の場合は休むということが徹底されて、クラス内での感染が減少したためと思われます。しかし、対策が困難な家族内感染はよくみかけます。

47週の岡山県のインフルエンザ定点の報告数は3例で、新型コロナウイルス感染症は102例でした。吉備医師会の先生方からのインフルエンザの報告は、まだありません。コロナ対策で、インフルエンザは流行しないのではないかと密かに期待しています。また、インフルエンザと異なり、**コロナは発症する2日前から発症前後が感染力が強いことがわかっています。感染者の45%が無症状者からの感染です。**

流行地域では、症状がなくてもウイルスを持っていると考えることが大切です。三密をさけて、手洗い、マスクの着用、体調不良の場合は休むなど、今まで通りの予防対策を続けましょう。ウイルスは人を介して移動します。残念ながら、しばらくは多人数が集まる会食や旅行などはできませんね。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)